

特集—新教科書をひらく

UNICORN English Communication 1 : LESSON 6

# El Sistema: The Miracle of Music

## 教科書題材の背景

文英堂編集部



### エル・システムとは

南米はベネズエラで、子どもたちを犯罪から守りつつ協調性を身につけさせようと1975年に創設されたユニークな音楽教育が、現在世界で評判を呼んでいます。UNICORN English Communication 1では、その音楽教育「エル・システム」について取り上げました。

ベネズエラにおいて現在約35～40万人の青少年が参加する音楽による人材育成のシステム、それがエル・システムです。政府支援のもと無料で子どもたちに楽器と指導を提供。その理念は、演奏技術の習得だけではなく、オーケストラを中心とした音楽活動によって子どもたちに忍耐力・協調性・自己表現力など優れた社会性を身につけさせ、犯罪や非行の抑止力となっています。

エル・システムは、クラシック音楽がエリート層の「嗜好品」ではなく、子どもたちの健全な成長を助け、社会的問題の解決策となりうる「必需品」であることを証明してくれました。ベネズエラでは、障害者と健常者がいっしょに活動を行う手段として、また犯罪者の更生目的で刑務所内でのエル・システムを実施しています。

### なぜオーケストラなのか

エル・システムの創始者であるホセ・アントニオ・アブレウ博士はユニークな経歴の持ち主で、元文化大臣、経済学者であり音楽家というマルチな才能を持った人物です。芸術文化は「裕福な一部の人間だけに享受されてはならない」という氏の信念が形になったものがこの制度でした。教科書のパート1(pp.

100-101)にもありますように、1975年当時はガレージに集まった数人の子どもたちと演奏をしたのがことの始まりでした。地道な活動が数年後には100人、200人と増え、現在では各都市に子どもたちのオーケストラや合唱団が何百とできました。オーケストラは「忍耐、自尊心、自己表現力、協調性、そしてコミュニケーション力を養う共同体であり、それは社会の縮図でもある」というアブレウ博士の言葉は、エル・システムが国全体で支持された理由を裏付けるものでしょう。

楽器がまったくできない子どもでも、好きな楽器を選んだら、オーケストラの部員として指導されます。音が出たときの喜び、ハーモニーが生まれるときの楽しさを大切にすれば、おのずと子どもたちは音楽に熱中するからです。彼らを教える教師たちの中には、エル・システムで育った人たちもいます。彼らはそこで働くことによって、音楽で生計を立てていくことが可能となり、同時に次の世代を育てていくのです。

### 一流音楽家を輩出

ベネズエラ国内に多数あるユース・オーケストラの頂点にあるのがシモン・ポリバル・ユース・オーケストラ・オブ・ベネズエラ(現在の呼称はシモン・ポリバル・シンフォニー・オーケストラ)です。その活動ぶりは早くから欧米に伝わり、クラウディオ・アバドやサイモン・ラトル、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の団員が絶賛し毎年ベネズエラへと足を伸ばし、子どもたちの指導に参加します。

1999年には、エル・システムで教育を受けたグスターボ・ドゥダメルが17歳で音楽監督に就任。

2004年バンベルク交響楽団の国際指揮者コンクールで優勝したのち、ザルツブルク音楽祭に招かれるなどし、「100人に1人の天才」と世界的な評価を得ています。現在はロサンゼルス・フィルハーモニー管弦楽団の音楽監督に就任して、アメリカでのエル・システマの指導者としての役割を果たしています。

教科書のパート3(pp. 103-105)に登場するエディクソン・ルイスは、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団で最年少の団員となり、現在はコントラバス奏者として活躍しています。昨年末にはベルリン・フィルのメンバーとして来日を果たし、都内の高校でワークショップを行いました。ベネズエラについて、音楽について、子どもたちから発せられるたくさんの質問に丁寧に答えてくれ、最後は弦楽部との演奏で盛り上がりました。

### 世界の／日本のエル・システマ

現在では欧米を始めとした世界各国が、それぞれの社会状況に合わせたエル・システマの導入に動いています。自殺、不登校、引きこもり、学級崩壊などの問題を抱える「先進国」日本でも Friends of El Sistema Japan がエル・システマの導入活動を行っています。福島の相馬市では今年、エル・システマの理念を適用した「相馬子どもオーケストラ」が始動します。

2008年にシモン・ボリバル・ユース・オーケストラを招聘し公演を大成功させた音楽事務所 KAJIMOTO 顧問の佐藤正治氏は「エル・システマは音楽家以外にも有能な人材を産みます。理想的な人材育成組織です」と高く評価しています。

教科書の題材として取り上げたことにより、私ども編集部もエル・システマに深いつながりができました。末永く

この運動を応援していきたいと思います。

### 参考図書・DVD

- ・貧困社会から生まれた“奇跡の指揮者”～グスターボ・ドゥダメルとベネズエラの挑戦～(著者：山田真一、出版社：ヤマハミュージックメディア)
- ・ドキュメンタリー DVD「エル・システマ」(Music To Change Life - EL SISTEMA)

### 参考サイト

- ・Friends of El Sistema Japan  
[http://www.elsistemajapan.org/soma\\_project.html](http://www.elsistemajapan.org/soma_project.html)  
 相馬市の活動などが掲載されています。
- ・Orquesta Juvenil Simón Bolívar de Venezuela - BBC Proms 2007  
[http://www.youtube.com/watch?v=\\_El7qwib0dc&feature=related](http://www.youtube.com/watch?v=_El7qwib0dc&feature=related)  
 再生が100万回を越えたシモン・ボリバル・ユースオーケストラのアンコールの様子。教科書パート4(pp. 105-106)の写真で見られるように、アンコールでは奏者全員がベネズエラのナショナル・カラーのジャンパーに身を包み、観客を巻き込んで盛り上がりります。

